

感染症情報

9月14日～20日(第38週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

新型コロナウイルス感染症

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		
⑥	溶連菌感染症	★★★★	→	コンスタントにみられます
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★★		まれにみられます
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★	→	まれにみられます
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★		
⑪	手足口病	★		
⑫	ヘルパンギーナ	★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★★	→	まれにみられます
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★		
⑯	RSウイルス感染症	★★	↑	増加傾向です
⑰	インフルエンザ	★★★★	↑	増加傾向です
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★	→	まれにみられます
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★★	↓	まれにみられます
⑳	その他のかぜ症候群	★★		

現在大きく流行している感染症は特にありません。昨年に続き今年も「夏かぜ症候群」は少なかったです。「新型コロナウイルス感染症」も数年間夏場の流行がありましたが今年は少なかったです。

「溶連菌感染症」は以前から引き続きコンスタントにみられています。

全国的に流行が早く騒がれている「インフルエンザ」ですが、今のところ当院周辺では未だ少ないです。今後急速に増加する可能性が高いと思われますので気をつけてください。

「RSウイルス感染症」も少しづつ増加傾向ですが昨年度大きく流行した「マイコプラズマ感染症」と共に今年度どの程度の流行になるか不明です。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある